

平成 30 年度（第 2 回）二宮町文化財保護委員会 会議録

日 時 平成 31 年 2 月 14 日（木） 14：00～15：30

場 所 ラディアン ミーティングルーム 2-1

出席者 （文化財保護委員） 橘川卓司委員長、杉山幾一副委員長、島崎直人委員、
鈴木一男委員、露木泰彦委員

（事務局） 森教育長、志賀教育部長、
小島生涯学習課長、須賀副主幹
中山文化財保護事務嘱託員

傍聴者 なし

資 料 (1) 平成 30 年度文化財保護関係事業報告
(2) 台風 25 号による指定文化財への被害と対策について

1、開会

2、教育長挨拶

3、委員長挨拶

4、議題

(1) 平成 30 年度文化財保護関係事業報告

※事務局より資料に基づいて説明

(委 員) これまで二宮駅のできた過程の資料がなく、不明なことも多かったのですが、今年度発行された『ふるさと再発見 7 伊達時とその時代』はそれがよくわかる良書だと思います。ただ小・中学校での活用を考えると、少々難しいので、子ども向けにこの内容をかみ砕いた本を作ることを考えてほしいです。

(委 員) 軽便鉄道の歴史についても、小・中学生が読めるような冊子を作ったら、地域の歴史に興味を持ってもらえるのではと思います。

(委 員) 埋蔵文化財の発掘調査をしたということですが、遺物はどうなっているのですか。

(事務局) 現在は報告書をまとめるために発掘調査をした会社にありますが、報告書ができあがったら二宮町に戻ってきます。

(委 員) 遺物の保管場所はどのようになっているのですか。

(事務局) 二宮中学校の倉庫、ラディアンの倉庫、ふるさとの家の倉庫に分散して保管しています。

(委 員) どこの自治体でも遺物は増えるばかりですから、保管場所に困っていますね。

(委 員) 二宮町でも今後を見据えて保管場所をきちんと確保しておく必要があります。

(委 員) 今、町のどこかで遺物を展示しているところがありますか。

(事務局) 特にありません。

(委 員) 発掘調査の成果を町民の方々に知ってもらうために、展示場所があるといいですね。

(委 員) 新たに庁舎が建設された時にはロビーの一角にでも遺物を展示して、町の歴史を知ってもらえるようにしたらよいのではないのでしょうか。

(2) 台風 25 号による指定文化財への被害と対策について

※事務局より資料に基づいて説明

(委 員) この台風では町のいろいろなところで樹木が倒れましたね。

(委 員) 蘇峰堂の梅園は風情有あり、観光資源としても町にとって大切なものだと思いますが、樹木を維持していくのは経済的に大変です。町としてはどのような補助をしているのですか。

(事務局) 指定文化財については天然記念物だけではなく、上限を設けて維持管理費を補助しています。

(委 員) 補助があると言っても樹木などは年間を通して手入れが必要ですから、所有者の負担は大きいです。町でもう少し補助金を増やすなど方法を考えることはできませんか。

(委 員) 自分の家の木が天然記念物に指定されると維持にお金がかかるので、切ってしまうという話を聞いたことがあります。それでは町の大木などがなくなってしまうかもしれません。指定するにあたっては、所有者の負担が大きくなりすぎないように町も対応すべきでしょう。

5、閉会